

11月11日 伊那市立伊那東小学校・伊那市立東部中学校・生涯学習センター
「南信地区学校図書館教育研究大会を終えて」

上伊那支部代表 伊那市立富県小学校 高橋 玲子

- 1 研究テーマ 学びを深め、知を活かす図書館教育のあり方
～児童・生徒の豊かな育ちを支えるために～

2 公開授業・授業研究会

会場校	授業学級・授業者	教科・単元名	指導者
伊那東小学校	4年桃組 飯嶋 穂波	国語 「本の世界を広げよう」	木曾町図書館長 青木 裕美恵
東部中学校	2年4組 宮坂 貴之	国語 「平家物語・扇の的」	南信教育事務所 指導主事 三石 啓介

3 講演

- (1) 演題 「伝える・伝わる～心がけていること～」
(2) 講師 平山 直子氏 (伊那ケーブルテレビ放送部長)

4 参加人数 118名

5 まとめ

【小学校】

研究テーマを「本に親しみ、主体的に調べ、学び合う児童の育成」とし、自分自身の図書館との関わりを考えながら、4年生の「本のポップや帯を作ろう」の学習を発展させ取り組んでいた。伝えたい人を具体的に想定(相手意識)し、どんなことを伝えたいか考えることで、自分ではなく伝えたい相手のことを中心に考えながら本の選定を行っていた。相手のことをじっくりと考えることで普段であれば選ばないような本の選定をし、そのおもしろさを伝えるためにじっくりと読み込むこともしていた。また、友だちとテーマ別のグループ毎に「作戦会議」(話し合い活動)を行うことで、選定した本のよさを深めることができていた。



【中学校】

教材である「平家物語」は国語の教科書に掲載されている古典作品の中でも異本の数が多く、作品によって多様な表現がなされていることを活かし、教科書を読み内容を理解することで終わりにするのではなく、それぞれに描かれている「与一」の人物像の違いに着目し、自分の「推し」を決めるという授業を行った。



教材準備において、平家物語の諸本を集めることは大変であったが、本校の司書の先生に相談をして、伊那市の小中学校図書館、信州大学附属図書館から資料を取り寄せた。生徒は、諸本による与一の違いを分析し、まとめることができた。研究会では、図書館の役割として情報収集センターのみならず、授業づくりセンターの役割も果たしていることなどの意見が出された。

【講演会】

「報道」という現場から、言葉や文字で伝えることの大切さ、また平山氏が挑戦し続ける姿勢についてご講演をいただいた。